

## ◆2021年海員春闘中央交渉スタート —海員春闘— 第1回中央交渉の概要

### 日本カーフェリー労務協会との第1回交渉

日本カーフェリー労務協会との第1回交渉委員会は、組合側幹事の司会で始まり、労使双方の交渉委員を確認した後、船団側を代表し小笠原朗会長、組合側を代表し森田保己組合長がそれぞれ挨拶を行った。

続いて交渉委員会運営の確認をした後、組合側幹事より組合要求について、船団側幹事より船団側申し入れ事項についてそれぞれ趣旨説明を行ない、日本カーフェリー労務協会の構成会社の確認を行った後、質疑応答に移り、組合側より期限内自主円満解決に対する考え方について質したところ船団側は、異論はないとの考えを示した。また「有効期間」については労使双方の申し入れ事項であり、船団側も特段の異論はないとしたことから仮合意とした。

その後、船団側の申し入れ事項である基本給および「別冊 服務ならびに賞罰の基準」について質したところ、船団側より基本給については、コロナ禍において各社厳しい経営状況であることを理解頂きたいとした。

続いて「別冊 服務ならびに賞罰の基準」については、この数年、若手船員の定着率が悪化していることの原因がハラスメントに依ること、ハラスメント防止対策が昨年6月1日に義務化されたことを鑑み、今次交渉において、ハラスメント行為について労働協約書に明記することで、労使協調して、この問題に取り組みたいとの考えを示した。

組合要求に対する考え方を質したところ船団側は、先行きも不透明な中、本日段階で具体的な回答はできないが、早期自主円満解決を目指し議論したいとの考えを示したことから、組合側より、組合要求について前向きに検討するよう求め、また、船団側の申し入れについては整理できるよう検討し、次回交渉に臨むよう求めた。

最後に、次回交渉を3月11日13時30分より、ホテルマリナーズコート東京にて開催することを確認し、14時30分に第1回交渉委員会を終了した。

### 全内航との第1回交渉

全内航との第1回交渉委員会は、組合側幹事の司会で始まり、労使双方の交渉委員を確認した後、船団側を代表して関田拓生会長、組合側を代表して森田保己組合長がそれぞれ挨拶を行った。

次に交渉委員会運営を確認した後、組合要求に関する趣旨説明を行い、船団側より、今次労働協約改定に関する申し入れはないとの報告がなされた。

その後質疑応答に移り、組合側より期限内自主円満解決および年間臨時手当交渉の同時決着について質したところ船団側は、異論はないとした。続いて、組合要求に対して船団側より、十分に理解しているものの、厳しい経営状況におかれているため、今後、十分に議論を行い早期自主期限内解決に向け、努力したいとの考え方を示した。

これに対し組合側より、労働環境の改善および賃金の改善は必要不可欠であり、安全運航に努めている組合員のため、前向きな検討を行い次回交渉に臨むよう求めた。

最後に「有効期間」については本日段階で仮合意とし、次回交渉日程については3月10日15時より組合本部地下大会議室で開催することを確認し、15時15分に第1回全内航交渉委員会を終了した。

「海員だより」